

令和元年度 防災・BCP実務研修会

◇令和元年8月2日(金) ウィンクあいち1003会議室

◇研修目的

近い将来起きると予測される「南海トラフ地震」等の大規模災害に対してどのような備えをすれば良いのか、また、昨年の西日本豪雨災害支援活動実例から防災体制のあり方を考え、学ぶ機会としました。(主催 愛知県生協連防災委員会幹事会)

◇研修内容

- (1)西日本豪雨災害支援活動報告
- (2)名古屋市における災害対策について

◇29名(18生協25名、行政1名、事務局3名)

コープあいち1名、一宮1名、あいち1名、生活クラブ1名、トヨタ2名、かりや愛知中央3名、愛知県職員2名、トヨタ車体1名、愛知県警察職員1名、南医療1名、みなと医療1名、愛知県労働者共済2名、名古屋市民火災共済1名、名古屋大学消費1名、大学生協東海事業連合1名、愛知県勤務医師1名、県民共済愛知2名、三重県生協連2名、愛知県防災局1名

■西日本豪雨災害支援活動報告(内容抜粋)

＜講師:広島県生協連 事務局長 福島 守様＞

①西日本豪雨災害による被災状況

- ・死者・行方不明者100名超、過去50年で最大の人的被害

②広島県生協連の災害時の取り組み

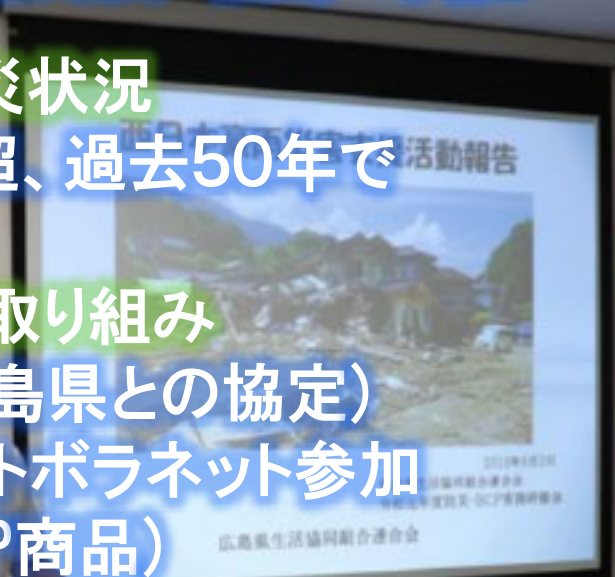
- ・救援物資の調達・配送(広島県との協定)
- ・広島県被災者生活サポートボラネット参加
- ・物的支援(支援物資/COOP商品)
- ・人定支援(看護師77人、ボランティアセンタースタッフ95人 他)

③西日本豪雨災害被災地・被災者への支援活動について

- ・生協店舗での健康チェック
- ・移動販売車の被災地訪問
- ・断水エリア(飲料水)、仮設住宅(お見舞い)の訪問

④今後の課題

- ・行政との連携(日常的なコミュニケーション)
- ・他団体、協同組合間連携



■名古屋市における災害対策について(内容抜粋)

＜講師：名古屋市中消防署 予防課長 三輪 敏治様＞

①過去の日本の大災害

- ・伊勢湾台風(5,098人)、阪神・淡路大震災(6,437人)、東日本大震災(21,839人)
- ・避難に関する情報(避難勧告と避難指示)
- ・南海トラフ巨大地震の名古屋の被害想定

②巨大地震に備えて今なすべきこと(家庭・企業)

- ・家庭会議、安否確認、家具・什器の固定、備蓄と非常持ち出し
- ・情報伝達、伝達手段、安否確認手段の確保
- ・施設の安全確保
- ・BCPの作成、備蓄の確保(水、飲料水、簡易トイレ、医薬品等)

③帰宅困難者対策

- ・震度6弱の地震発生で県内の全線不通→1か月で約50%復旧
- ・一時退避場所、退避施設(24h)を事前にチェックしておく
- ・企業は「一斉帰宅の抑制」と「むやみに移動を開始せず施設内待機」に努める

